

スポーツを通じた国際貢献事業「スポーツ・フォー・トゥモロー」プログラム Jリーグが中心となり震災被害のネパールで合同スポーツ教室、防災教育を実施 FC 東京をはじめとする SFTC 会員が参加し、約 600 名の現地の子どもに様々なスポーツを指導

報道関係各位

公益社団法人日本プロサッカーリーグ(Jリーグ)は、ネパールにて2016年2月4日、「スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)※1」事業の一環として防災教育を兼ねた合同スポーツ教室を開催しました。この事業は、独立行政法人日本スポーツ振興センターの委託を受けたスポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム会員(SFTC 会員)であるJリーグが、同じくSFTC会員であるFC東京やNPO法人ネパール野球ラリグラスの会、日本国際協カシステムに協力を要請し、複数のスポーツ団体が一同に会して実施したものです。

ネパールでは、昨年4月25日に大地震が発生しました。今回Jリーグは、甚大な被害が出たネパールのカトマンズ周辺にて、2016年2月1日から2月7日までに計16校の学校を訪問し、被災した子どもたちをスポーツを通じて勇気づけるとともに、今後の災害に備えるために「防災体操」を紹介しました。同月4日には、首都カトマンズのANFA chyasal groundにて、それまで種目ごと(サッカー・バレーボール・野球)に学校を巡回していたプロのコーチらが一同に会し、子供たちに様々なスポーツの実技指導を行うとともに、「防災体操」を通して防災への理解を深めました。

■ イベント当日の様子



写真提供: Jリーグ

イベントには地元の学校から約600名の子どもたちが参加。参加した学校の教員からは、「震災によって学校もダメージを受け、スポーツをできる環境が震災前に比べ限られていた。今日の子供達の笑顔がとても印象的であった。これまでネパールで行われていないようなスポーツの楽しみ方(プログラム)も紹介され、参加できてとても良かった」との声が寄せられました。

SFTでは、今後も、スポーツの力を活用し、災害復興を含む各国の課題解決に取り組んでいきます。

■ スポーツ・フォー・トゥモローホームページ
<http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>

◀ お問い合わせ先 ▶

スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム事務局
(独立行政法人日本スポーツ振興センター内)

担当 小川・岸

〒150-0001 東京都渋谷区神宮前 3-7-5 青山MSビル7階

TEL:03-6804-2776 FAX:03-3403-1570

1 スポーツ・フォー・トゥモロー(SFT)とは

- ・ 2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催国として、2014年から2020年までの7年間で、開発途上国をはじめとする100カ国以上の国において、1,000万人以上を対象に、世界のよりよい未来のために、未来を担う若者をはじめ、あらゆる世代の人々にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていく取り組み。外務省とスポーツ庁が連携し日本国政府が主導するプログラムである。
- ・ このプログラムを、日本国政府として着実に実施していくことは、2020年東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた我が国の国際公約の一つ。
- ・ 行政機関、関係団体、大学等が保有している知見の交換、各機関の連携協力を促進し、国際社会にスポーツの価値とオリンピック・パラリンピック・ムーブメントを広げていくことを目的に、スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアム(SFTC)を形成している。
- ・ SFTCには平成28年2月2日現在で141団体が加盟している。

2 スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業は

- ・ オール・ジャパンで「スポーツ・フォー・トゥモロー」のムーブメントを促進していくことを目的に、スポーツ・フォー・トゥモロー・コンソーシアムが、会員団体が実施する「スポーツ・フォー・トゥモロー」の趣旨に沿った活動を「スポーツ・フォー・トゥモロー認定事業」として承認するもの。
- ・ これまでの認定事業については、SFT公式サイトに紹介している。
<http://www.sport4tomorrow.jp/jp/>